

Contents

- ▶ わかもの学会大会開催
- ▶ 藤前干潟のマイクロプラスチック汚染について
- ▶ 地域連携フォーラム開催
- ▶ 四日市中央通り再開発に向けて意見交換会

- ▶ 四日市東日本大震災支援の会が被災地訪問
- ▶ 桑名市との包括連携協定の締結
- ▶ 留学生・日本人学生交流研修実施
- ▶ SPORTS TOPICS (サッカー部コーチに佐藤洸一氏が就任)

わかもの学会大会開催

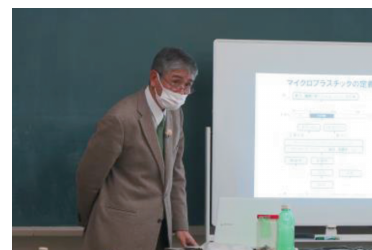
第9回 四日市大学わかもの学会大会が2月11日(土)に本学にて開催されました。各学部で選抜された学生8組は、この日に向けて努力を重ね、研究成果や制作活動について発表しました。発表、質疑応答の各組15分で進行し、どの組もわかもの学会大会に相応しいフレッシュな発表となりました。鋭い質疑に精一杯応答する姿に大きな拍手が送られ、参加者からは「回を重ねる度にハイレベルになっている。今後も期待している」などの感想もいただきました。最優秀賞は、環境情報学部4年太田正樹さんの「大型店舗の照明下におけるコウモリ類の音声モニタリング」が選ばれました。



藤前干潟のマイクロプラスチック汚染について

名古屋テレビ報道ドキュメンタリー番組「メ〜テレ60周年 藤前干潟のキセキ〜“楽園”とごみの未来〜」が3月21日(火)に放映されました。この番組企画で、本学の環境情報学部の千葉賢教授が専門家として招かれました。野鳥の楽園として有名な藤前干潟がプラスチックごみに汚染されているのを、千葉教授と番組取材班が調査し、2月8日(水)愛知県立南陽高校で、番組ナビゲーターの東山紀之氏(ジャニーズ事務所所属)と高校生に、調査結果やプラスチックごみについて千葉教授が解説を行いました。参加した高校生には、身近な藤前干潟がいつまでも渡り鳥の生息できるきれいな環境であるよう、未来に自然を受け継いでいくことの大切さを学べた時間となったようです。

名古屋テレビ「テレメンタリー2023」4月25日(火)でも放映。また、CBCテレビ「千原ジュニアのとったモン勝ち〜GOMIときどき笑い〜」(5月6日(土)放映)にも千葉教授がマイクロプラスチックに関する専門家として出演します。



地域連携フォーラム開催



2022年度四日市大学地域連携フォーラムが、3月4日(土)に本学にて開催され、特定プロジェクト研究3件の成果が報告されました。この特定プロジェクト研究は、本学の環境情報学部の廣住豊一教授の「北勢地域における森林価値再発掘と里山圏資源循環モデルの構築」、総合政策学部の岡良浩教授の「地域を拓く未来企業に関する研究」、環境情報学部の片山清和教授の「AIを用いた予測・分類システムの開発」の3件です。

四日市中央通り再開発に向けて意見交換会

三重県四日市市の中央通り周辺の再開発に向けた意見交換会が1月17日(火)に行われ、本学の環境情報学部の学生が参加しました。四日市スマートリージョン・コア推進協議会傘下の「データプラットフォームワーキンググループ」が、まちなかのさまざまな事象をデータ化し、利活用する方法やアイデアを探る一環として、今回の意見交換会を開きました。会では、大学生や関係企業、行政のそれぞれの立場から中心市街地の現状と課題、解決策などの意見が交わされました。2023年1月18日付の中日新聞でも、環境情報学部2年の小林陽菜詩さんのコメントが掲載されました。

四日市東日本大震災支援の会が被災地訪問



四日市東日本大震災支援の会は、本学の副学長である鬼頭浩文教授が代表の会で、本学の学生を伴い支援活動を行っています。震災後すぐに支援活動を始め、他地域も含め災害支援活動を続けている団体です。支援を開始して12年が経ちました。彼らは78回目の活動として、2023年3月18日（土）に、宮城県東松島市を訪問しました。彼岸の入りに合わせての訪問となった今回は、犠牲となった子供たちのために揚げられた青い鯉のぼりの下でお祈りし、被災して集団移転されている地区の自治会役員の方たちと交流会を実施しました。この被災者の心に寄り添う被災地支援は、今後も続いていきます。

桑名市との包括連携協定の締結

本学と三重県桑名市は、1月30日（月）に包括連携協定を締結しました。本協定は、本学が北勢地域の3市5町と締結をめざしている自治体との包括連携協定の一環として行われました。締結式では、伊藤市長から「急速に進む人口減少のなか住民のニーズは多様化している。今後、貴学と連携し、地域と世代を超えて前に進んでいきたい」と抱負が述べられ、岩崎学長は、「これまでのつながりを個から横に広げる取り組みを進め、学生たちには座学から地域に学ぶ場をつくっていきたい」と応じられました。今後は、包括連携協定に基づく具体的な共同事業を模索していきます。



留学生・日本人学生交流研修実施



2月24日（金）に留学生・日本人学生交流研修旅行を実施しました。3年ぶりの実施となるこの研修では、「大阪・神戸」を訪れました。大阪では、大阪城を見学。大阪観光ボランティアガイド協会の方から、大阪城の歴史や城造りについて説明していただきながら、天守閣まで登りました。また、神戸では南京町を散策し、最後に廃校となった旧神戸市立北野小学校を活用してできた施設「北野工房のまち」を訪れ、日本の独自文化でもある食品サンプル作りに挑戦しました。日本の歴史や文化に触れ、普段できない体験を友人らと共有できたことは、学生生活の思い出のひとつとなったようです。

SPORTS TOPICS

サッカー一部コーチに 佐藤洸一氏が就任



《選手歴》
四日市西高校→四日市大学→FC岐阜→V・ファーレン長崎→ツエーゲン金沢→ヴァンフォーレ甲府→ヴィアティン三重

本学の卒業生で、2022シーズンで現役を引退した佐藤 洸一氏が、本学サッカー一部コーチに就任しました。

佐藤氏は学生時代には、2年次に、東海学生一部リーグで得点王&ベストイレブンに選ばれました。3年次には、東海選抜「第22回デンソーカップチャレンジサッカー宮崎大会」に出場し、その東海選抜が優勝し、4年次には、東海学生一部リーグのベストイレブンに選ばれ、学生時代から活躍され、卒業後14年間プロリーグに所属して活躍されました。14年間のプロ選手の経験を選手たちに伝えてくれることを期待しています。

※本号は2023年1月から3月までの情報を中心に掲載しています。

